スポーツ学部 こどもスポーツ教育学科 カリキュラムツリー(2024年度以降入学生)

●通常の科目 ○教職関連科目

(CP) こどもスポーツ教育学科は、大学の 教育課程編成・実施の方針(CP)に 掲げる目標を達成するために、総合 共通科目、専門教育科目を体系的に 編成し、科目を配置する。教育内 容、教育方法、教育評価について は、以下のとおり方針を定める。

教育課程編成・実施の方針

【教育内容】

1.関ャリア教育科目を含めた総合共通 科目、専門教育科目、自由選択科目 を配置し、児童・生徒に対する教育 およびスポーツの文化に関する幅広 い知識を身に付け、教育や地域社会 に貢献できる専門知識と実践力を養 う科目を配置する。

2. 関門教育科目は、「学部共通科目」 「児童教育科目」「スポーツ教育科 目|「ゼミナール科目|「スポーツ 実技科目」で区分し、基礎的内容か ら応用・発展的内容まで、知識と技 能を修得1. さらに両者を実践的に 学修できるよう科目を配置する。児 童・生徒に対する教育およびスポー ツの文化の理論知・実践知を身に付 け、学年を重ねるにつれてそれらを 応用する能力を高められるよう、必 修科目と選択科目を段階的に配置す

3.図らにゼミナール科目は、2年次よ り少人数クラスで展開し、4年次に卒 業研究に取り組む科目として配置す

これらの科目を通して 専門的知 識・技能を身に付けるとともに、「コ ミュニケーション能力」、「企画・計 画力1、「判断力1、「実践力1、「問 題解決能力」、「倫理観」を育む。

【教育方法】

1.図体的な学びの力を高めるためにア クティブ・ラーニングを取り入れた 教育方法を実施する。

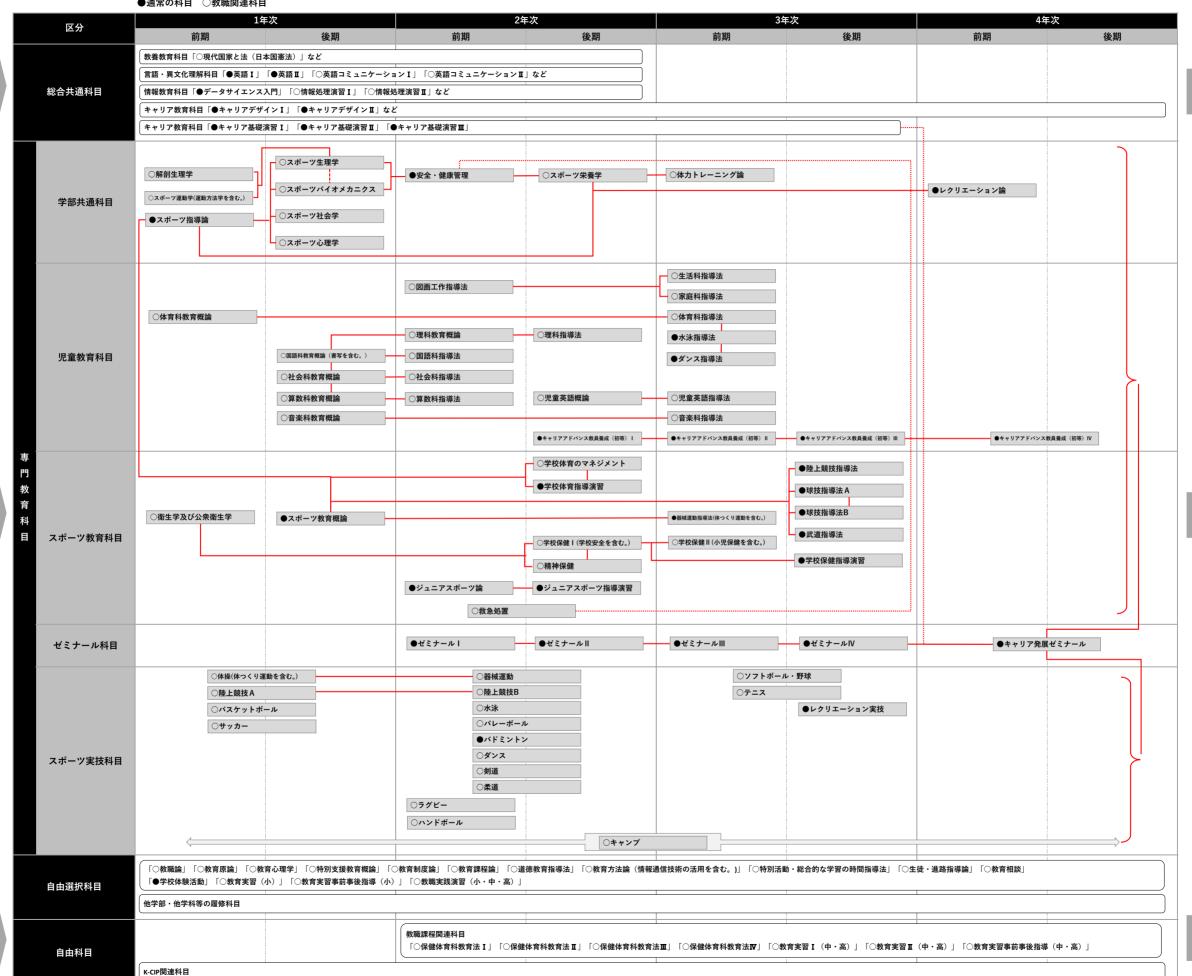
2. 図習・実習においてはグループ学修 を取り入れ、協調性を身に付けると ともに、自己および他者の課題を発 見し、解決する能力を育成する教育 を実施する。

3. 図業研究は、身に付けた知識・技 能・論理的思考力・分析力を活用 1. 主体的に研究を行い、成果が宝 を結ぶように個別指導を実施する。

【教育評価】

1. 図授業は、シラバスに基づいた到達 目標に対応した評価方法を導入し、 厳格な成績評価によって単位を付与 する。

2.2年間の学修成果は、卒業研究(必 修)によって行い、総合的に評価す



(DP)

こどもスポーツ教育学科は、総合的 な教養、児童・生徒に対する教育の 専門知識を身に付け スポーツの文 化に関する幅広い知識を基盤とした 確かな実践力と高い適応性を有する 教育者・支援者を養成することを目 指す。この基本理念をもとに、以下 を満たした学生に卒業を認定し、学 位を授与する。

【知識・技能】

学士(こどもスポーツ教育学)とし て相応しい幅広い教養を身に付け、 児童・生徒に対する教育の専門知識 とスポーツの文化を伝える技能を身 に付けている。

【思考力・判断力・表現力】

実社会で必要となる教養 および車 門分野の知識・技能を用いて、職業 人として適切な企画・計画力、的確 な判断力を有1. それらを実践でき る力を身に付けている。また、礼節 を重んじ高い力量をもつ教育者の素 養を身に付け、地域社会の中で率先 して行動できる力を身に付けてい

【主体性・協働性・倫理性】

実践力を備えた教育者として、高い 倫理性をもって自らを律し、主体的 に物事を考え、自己の判断と責任を 持って行動する力を身に付けてい る。また、地域や社会の一員とし て、自ら進んで他者との協働を通 1: 積極的にボランティア活動等を 実践し、社会貢献できる力を身に付 けている。